

■今後5年間の対応確認表

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外する項目に関しては、青ハッチングで示した

取組項目(当初)	取組項目(変更案)	高田河川園道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)							
減災のための取組項目	■取組項目の修正内容 ・達成目標を明確にすることで、実施内容に対する「済、実施中、未着手」の判断が容易に可能なよう修正した。 ・達成目標の欄を追加した。	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応									
実施内容	実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由								
姫川の洗掘状況の把握・理解	姫川の洗掘状況の把握・理解	○	継続													継続							
水位・気象情報等の情報発信	水位・気象情報等の情報発信	○	継続		引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援するため、今後も継続して、水位・気象情報等の情報発信を行っていく。	○	継続		引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援するため、今後も継続して、水位等の情報発信を行っていく。	○	継続		引き続き、水位・気象情報等の情報発信を行っていく。	○	継続	防災行政無線の整備が完了し、本システムを活用した情報提供に努める。	継続						
プッシュ型配信の運用開始	プッシュ型配信の運用開始	×	完了		運用開始が目標であり、取組目標を達成済み。	×	完了		プッシュ型配信を始めとした情報発信のルールは十分整備済み。	×	完了		プッシュ型配信を始めとした情報発信のルールは十分整備済み。 今後はその情報の精度や伝達の確実性の向上など、運用面の充実を図る他の取組を行う。	×	完了	妙高安全・安心メール、緊急速報メール、防災無線等による緊急情報提供の取組みについて実施済み。	完了						
防災情報の更なる普及のための周知・広報	防災情報の更なる普及のための周知・広報									○	継続		引き続き、気象情報記事を広報上越へ掲載していくため。	○	継続	年々変わっていく防災情報や災害時の対応のほか、自主防災組織の役員などの交代等にも対応するため、毎年継続して出前講座や防災リーダー研修を開催するほか、広報紙等が必要な情報提供を行う。	○	継続	外部講師を招聘しての研修会を開催する。	継続			
水防連絡会、情報伝達訓練の実施	水防連絡会、情報伝達訓練の実施	○	継続		引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援するため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	継続		引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援するため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	継続		引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の連絡体制を確認するため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	継続	災害発生時の適切な避難勧告等の発令に備え、引き続き連絡体制の確認のほか、情報伝達訓練、相貌防災訓練を実施する。	○	継続	関係機関と情報伝達訓練を実施する。	継続			
自治体への情報伝達(ホットライン)	洪水時における自治体への情報伝達(ホットライン)の確立及び実施	○	継続		引き続き、洪水時の市長による避難勧告等発令の判断を支援するため、今後も継続して、水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	継続		洪水時、避難勧告等の発令基準に連しているにも関わらず、災害の混乱等により市長が避難勧告を出していない時などは、重要なツールとなるため、引き続き活用していくとともに、情報伝達訓練等においても訓練していく。	○	継続		ホットラインの継続を図る。	○	継続	市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して水防連絡会及び情報伝達訓練を実施していく。	○	継続	ホットラインの継続を図る。	継続			
避難勧告等の発令に着目したタイムラインの整備・改善・支援	避難勧告等の発令に着目したタイムラインの整備・改善・支援	×	完了		避難勧告等の発令に着目したタイムラインの整備等に必要な浸水想定区域等の資料は提供済み。 なお、また新たな資料提供が必要な場合は、取組項目に新規追加の上、速やかに実施するものとする。	×	完了		避難勧告等の発令に着目したタイムラインの整備等に必要な資料は提供済み。	×	完了		実施済み。	×	完了	タイムラインの発動について、検証済み。	×	完了	風水害対応タイムラインとして、気象・防災情報の監視体制、避難勧告等の発令基準、関係機関との連携について整備済み。 訓練等の実施により、適宜見直しを行う。	×	完了	タイムラインの発動について、検証済み。	完了
水害タイムラインの検討・作成	水害タイムラインの検討・作成	○	継続		引き続き実施するものとする。	○	継続		引き続き実施するものとする。	○	継続		引き続き実施するものとする。	○	継続	引き続き実施するものとする。	○	継続	引き続き実施するものとする。	○	継続	引き続き実施するものとする。	継続
水害危険性に指定する河川の調整、検討、指定	水位周知河川の検討及び指定	○	継続		儀明川の水位周知河川等への指定あるいは指定無し等の対応完了まで、継続して支援を実施予定。	○	継続		儀明川において引き続き試行をかさね、本指定を目指す。 ・大規模水害が発生したときは、浸水実績図を作成する。 ・新潟地方気象台と連携し、洪水警報の危険度分布を活用。	×	完了		姫川のほか二級河川においても水位観測、監視カメラの設置が進められており、必要な整備は概ね完了。	○	継続	儀明川の水位周知河川等への指定あるいは指定無し等の対応完了まで、継続して支援を実施予定。	×	完了	姫川のほか二級河川においても水位観測、監視カメラの設置が進められており、必要な整備は概ね完了。	○	継続	・水位周知河川の指定のない、中小河川について、引き続き水位計設置を県と協議する。中小河川について、ぜひ水位計を設置いただきたい。	継続

■今後5年間の対応確認表

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外する項目に関しては、青ハッチングで示した

取組項目(当初)	取組項目(変更案)	高田河川園道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)				
減災のための取組項目	■取組項目の修正内容 ・達成目標を明確にすること で、実施内容に対する「済、実施中、未着手」の判断が容易に 可能なよう修正した。 ・達成目標の欄を追加した。	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応						
実施内容	実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由					
関川流域における水害危険性の周知の実施状況を確認	水位周知河川の指定状況に関する情報共有	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。	○	継続	引き続き、協議会において水害危険性の周知状況を確認していく。	継続			
姫川流域における水害危険性の周知の実施状況を確認	※前項10と統一																			
水位予測の検討及び精度の向上	水位予測の検討及び精度の向上	○	継続	現在構築中のため、継続実施。			・県が管理する中小河川では水位上昇が急激で水位予測が難しいため、気象台と連携して洪水警報の危険度分布を活用、検証していく方向に転換。	○	継続	・県が管理する中小河川では水位上昇が急激で水位予測が難しいため、気象台と連携して洪水警報の危険度分布を活用、検証していく方向に転換。							継続			
川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信	川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信の開始	×	完了	取組目標を達成済み。			取組目標を達成済み。スマホによる水位情報、河川カメラ画像の提供は有効であるため、引き続き発信する。水位計やカメラ増設を検討中。	×	完了	取組目標を達成済み。	×	完了	取組目標を達成済み。引き続き、緊急情報の提供を行っていく。	×	完了	取組目標を達成済み。市民の安全な避難行動につなげるため、今後も継続して適時適切な情報発信に努める。	妙高安全・安心メール、緊急速報メール、防災無線等による緊急情報提供の取組みについて実施済み。	完了		
洪水予報文の改良	洪水予報文の改良	×	完了	洪水予報文を改良済み。なお、また新たな改良が必要になった場合は、取組項目に新規追加の上、速やかに実施するものとする。	×	完了												完了		
気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善				×	完了	気象情報発信の内容等は改善済み。なお、警報級の可能性の提供や、警報等発表時の危険度の色分けによる警戒期間と予測の提供については、防災対応支援の一環として引き続き提供を継続する。											完了		
広域避難計画の策定・支援	広域避難計画の策定・支援	×	除外	策定に必要な資料は提供済みであり、かつ各市とも市を跨ぐ広域避難の必要性は無いという見解を出されているため、取組から除外する。	×	除外	市を跨ぐ広域避難の必要性は無いという見解を出されているため、取組から除外する。今後も問題があれば検証し、関係機関で改善を図る必要がある。	×	除外	市を跨ぐ広域避難の必要性は無いという見解を出されているため、取組から除外する。	×	除外	市を跨ぐ広域避難の必要性は無いという見解を出されているため、取組から除外する。			×	除外	機会を捉え、ハザードマップの見直しを行う。台風第19号の際に確認された、避難所指定に関する課題について、地元自主防災組織と協議を行った。市を跨ぐ広域避難の必要性は無いという見解を出されているため、取組から除外する。	除外	
要配慮者における避難確保計画の作成・支援	要配慮者における避難確保計画の作成・支援	○	継続	・今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。			・今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。	○	継続	・今後も要配慮者の避難に関してサポートを望む声があれば、県として可能なことを実施していく必要がある。	○	継続	引き続き、避難確保計画未作成の要配慮者施設に対し、支援する。	○	継続	平成31年4月公表の新たな姫川洪水ハザードマップに基づき、対象となる要配慮者施設の再抽出を実施。令和3年度末までに作成率100%を目指し、各施設に対し避難確保計画の作成の要請及び支援を行う。	○	継続	関係機関と連携し、要配慮者施設の訓練状況を確認する。	継続
関川想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表（浸水ナビ等による公表）	想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表（浸水ナビ等による公表）	×	完了	公表済み。			実施済み。	×	完了	根知川についてR3に予定。									継続	
姫川想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表（浸水ナビ等による公表）	※前項18と統一																			

■今後5年間の対応確認表

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外する項目に関しては、青ハッチングで示した

取組項目(当初)	取組項目(変更案)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)					
減災のための取組項目	■取組項目の修正内容 ・達成目標を明確にすること で、実施内容に対する「済、実施中、未着手」の判断が容易に 可能なよう修正した。 ・達成目標の欄を追加した。	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応							
実施内容	実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由						
新たな関川洪水ハザードマップ の改良・周知	想定最大規模降雨に対応した洪水 ハザードマップの改良・周知	×	完了	改良等に必要な資料は提供済み。 なお、また新たな資料提供が必要な場合は、取組項目に新規追加の上、速やかに実施するものとする。		○	継続	・計画規模浸水想定区域図公表河川について想定最大規模に更新したら、随時、情報提供する。 ・小規模河川の氾濫推定図を作成したら情報提供する。	×	完了	取組目標を達成済み。	○	継続	R3にハザードマップを更新し、引き続き運用する。	×	完了	水防法改正後の新たな基準に基づく洪水ハザードマップを作成・配布済み。	○	継続	機会を捉え、ハザードマップの見直しを行う。	継続
新たな姫川洪水ハザードマップ の改良・周知	※前項20と統一																				
関川洪水ハザードマップの改良・調整	先進事例等を踏まえた分かりやすい洪水ハザードマップの改良	○	継続	引き続き、検討していく。		○	継続	引き続き、検討していく。		○	継続	引き続き、検討していく。		○	継続	引き続き、検討していく。		○	継続	引き続き、検討していく。	継続
姫川洪水ハザードマップの改良・調整	※前項22と統一																				
まるとまちごとハザードマップの整備	まるとまちごとハザードマップの整備	○	継続	引き続き、実施していく。		○	継続	引き続き、実施していく。		○	継続	引き続き、実施していく。		○	継続	引き続き、実施していく。		○	継続	引き続き、実施していく。	継続
マイタイムライン作成の普及促進・支援	マイタイムライン作成の普及促進・支援	○	継続	マイタイムラインの普及はまだ十分ではないと考えられるため、引き続き出前講座での講習、逃げキットの紹介・配布等を行っていく。		○	継続	・マイタイムラインの普及に向けて、県として可能なことを実施していく。		○	継続	・マイタイムラインの普及に向けて、県として可能なことを実施していく。		○	継続	マイタイムラインの普及はまだ十分ではないと考えられるため、引き続き広報等での周知や、啓発チラシ配布等を行う。		○	継続	マイタイムラインの普及はまだ十分ではないと考えられるため、引き続き広報等での周知などを実施する。	継続
重要水防箇所の共同点検	重要水防箇所の共同点検の定期的な実施	○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。		○	継続	出水期前における重要水防箇所等の合同点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。		○	継続	点検は重要であることから継続する。		○	継続	出水期前における重要水防箇所等の点検は、有事に備えた関係機関との連携の構築や認識の共有を行うための場として有効であり、引き続き参加していく。		○	継続	自主防災組織との合同点検を検討する。	継続
自主防災のあり方・役割の啓発	自主防災のあり方・役割の啓発									○	継続	有事に備えるため、引き続き啓発を行う。		○	継続	地域防災力の維持・向上のため、自主防災組織と連携した避難訓練等を実施する。		○	継続	外部講師を招聘しての研修会を開催する。	継続
実践的な研修・訓練の実施	実践的な研修・訓練の実施									○	継続	地域防災力の向上を図るため、引き続き研修会等を実施する。		○	継続	自主防災組織が行う自主的な避難訓練等の防災活動を支援するとともに、防災リーダー研修を開催し、必要な知識・情報を伝えていく。		○	継続	・防災用品購入に対する補助金について、令和4年度までの時限事業（延長の予定なし）。 ・消防団との合同や避難所運営など、より実践的な訓練となるよう、自主防災組織へ依頼を継続する。	継続
自主防災組織の設立支援・防災士の養成	自主防災組織の設立支援・防災士の養成	○	新規	自主防災組織の設立・防災士の養成について、支援していく						○	継続	地域防災力の向上を図るため、引き続き防災士養成講座を開催する。		○	継続	自主防災組織補助金制度により、自主防災組織が行う資機材整備や活動費、環境整備費を支援していく。		○	継続	防災士資格取得のための補助制度を継続する。	継続

■今後5年間の対応確認表

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外する項目に関しては、青ハッチングで示した

取組項目(当初)	取組項目(変更案)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)
減災のための取組項目	■取組項目の修正内容 ・達成目標を明確にすること で、実施内容に対する「済、実施中、未着手」の判断が容易に 可能なよう修正した。 ・達成目標の欄を追加した。	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		
実施内容	実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	
水防連絡会、情報伝達訓練の実施	水防連絡会、情報伝達訓練の定期的な実施	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	継続
避難訓練に関する情報共有	避難訓練の実施及び実施状況の情報共有			○	継続					○	継続	○	継続	○	継続	継続
水災害教育を実施	水災害教育の継続的な実施	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	継続
出前講座等の説明会を開催	出前講座等の説明会の継続的な開催	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	継続
広報資料の作成・配布	広報資料の作成、配布	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	継続
危機管理型水位計の配置計画の見直し・検討	危機管理型水位計の配置計画の見直し・設置	×	完了			×	完了	×	完了							完了
CCTVカメラ、簡易水位計、量水標の設置	CCTVカメラ、簡易水位計、量水標の設置	×	完了			×	完了	×	完了							完了
・河道掘削 ・急流河川対策 ・河道拡幅、築堤	河道掘削、急流河川対策、河道拡幅、築堤等の実施	○	継続			○	継続	○	継続							継続
・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	堤防天端の保護、堤防裏法尻等の補強等の実施	×	完了			○	継続	○	継続							継続
河川防災ステーション等の検討・調整	河川防災ステーション等の検討・整備	○	継続			○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	○	継続	継続

■今後5年間の対応確認表

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外する項目に関しては、青ハッチングで示した

取組項目(当初)	取組項目(変更案)	高田河川国道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)							
減災のための取組項目	■取組項目の修正内容 ・達成目標を明確にすること で、実施内容に対する「済、実施 中、未着手」の判断が容易に 可能なよう修正した。 ・達成目標の欄を追加した。	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応									
実施内容	実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更 して継続 ×完了又は除外	理由								
浸水想定区域の浸水深、浸水 継続時間及び家屋倒壊危険区 域の情報提供	浸水想定区域の浸水深、浸水継続 時間及び家屋倒壊危険区域の情報 提供	×	完了	整備に必要な資料は提供 済み。 なお、また新たな資料提 供が必要な場合は、取組 項目に新規追加の上、速 やかに実施するものとす る。		×	完了	整備済み。	×	完了	整備済み。					完了							
・立ち退き避難が必要な区域・ 避難方法の検討 ・垂直避難等、柔軟な避難方法 の検討	立ち退き避難が必要な区域・避難 方法の検討、垂直避難等、柔軟な 避難方法の検討									○	継続	引き続き、垂直避難等、 柔軟な避難方法の検 討・周知を行う。	○	継続	洪水ハザードマップの 活用により、早期の避 難行動により安全を確 保するほか、垂直避難 等浸水想定区域レベル に応じた対応を周知し ており、引き続き出前講 座等での周知を行って いく。	○	継続	機会を捉え、ハザード マップの見直しを行うと ともに、垂直避難や縁 改避難など、柔軟な避 難方法の周知を行う。	継続				
重要水防箇所の共同点検	重要水防箇所の共同点検の定期的 な実施	○	継続	出水期前における重要水 防箇所等の合同点検は、 有事に備えた関係機関と の連携の構築や認識の 共有を行うための場とし て有効であると認識して いるため、引き続き、取り 組んでいく。		○	継続	重要水防箇所等の共同 点検は、有事に備えた関 係機関との連携の構築 や認識の共有を行うた めの場として有効であ ると認識しているた め、引き続き、取り組ん でいく。	○	継続	点検は必要であること から継続する。	○	継続	出水期前における重要 水防箇所等の点検は、 有事に備え、有効であ ると認識しているため、 引き続き、取り組んでい く。	○	継続	出水期前における重要 水防箇所等の合同点検 は、有事に備えた関係 機関との連携の構築や 認識の共有を行うた めの場として有効であ り、引き続き参加してい く。	○	継続	消防団に対し、河川巡 視への参加を要請す る。	継続		
水防資機材の確認・整備	水防資機材の定期的な確認・整備	○	継続	出水期前における水防資 機材の確認・整備等を行 う合同点検は、有事に備 えた関係機関との連携の 構築や認識の共有を行う ための場として有効であ ると認識しているため、引 き続き、取り組んでいく。		○	継続	水防備蓄材等の共同点 検は、有事に備えた関 係機関との連携の構築 や認識の共有を行うた めの場として有効であ ると認識しているため、引 き続き、取り組んでい く。	○	継続	点検は必要であること から継続する。	○	継続	出水期前における水防 資機材の確認・整備等 を行う合同点検は、有事 に備え、有効であると認 識しているため、引き続 き、取り組んでいく。	○	継続	出水期前における水防 資機材の確認・整備等 を行う合同点検は、有事 に備えた関係機関との 連携の構築や認識の 共有を行うための場とし て有効であり、引き続き 参加していく。	○	継続	引き続き、必要な水防 資機材の整備・点検を 行う。	継続		
新技術を活用した水防資機材 の検討・配備	新技術を活用した水防資機材の検 討・配備	○	継続	引き続き、検討していく。		○	継続	引き続き、検討してい く。	○	継続	引き続き、検討してい く。					継続							
水防実働訓練の実施	水防実働訓練の定期的な実施	○	継続	出水期前における水防実 働訓練は、有事に備えた 水防技術の鍛錬や伝承 の場として有効であると 認識しているため、引き 続き、取り組んでいく。	○	継続	地域支援チームを組織 し、「あなたの町の予報 官」として市町村との連 携強化のため引き続き 参加する。	○	継続	水防実働訓練は、有事 に備えた関係機関との 連携の構築や認識の共 有を行うための場とし て有効であると認識して いるため、引き続き、取 組んでいく。	○	継続	訓練は必要であること から継続する。	○	継続	出水期前における水防 訓練は、有事に備え、 有効であると認識してい るため、引き続き、取り 組んでいく。	○	継続	出水期前における水防 実働訓練は、有事に備 えた水防技術の鍛錬や 伝承の場として有効で あり、引き続き参加して いく。	○	継続	有事の際、迅速な水防 活動が展開できるよう、 消防団と連携し、関係 機関が主催する水防訓 練に参加する。	継続
水防技術講習会の実施・支援	水防技術講習会の定期的な実施・ 支援	○	継続	水防技術基礎講座は、有 事に備えた水防技術の鍛 錬や伝承の場として有効 であると認識しているた め、引き続き、取り組ん でいく。		○	継続	水防技術講習会は、有 事に備えた技術の再確 認のほか、関係機関と の連携の構築や認識の 共有を行うための場とし て有効であると認識して いるため、引き続き、取 組んでいく。	○	継続	講習会は必要であるこ とから継続する。	○	継続	出水期前における水防 訓練は、有事に備え、 有効であると認識してい るため、引き続き、取り 組んでいく。	○	継続	水防技術基礎講座は、 有事に備えた水防技術 の鍛錬や伝承の場とし て有効であり、引き続 き参加していく。	○	継続	消防団と連携し、水防 技術向上のための訓練 を開催するよう要請す る。	継続		
排水実働訓練の実施	排水実働訓練の定期的な実施	○	継続	排水訓練や現地確認は、 有事の備えとして有効 であると認識しているた め、引き続き、取り組ん でいく。	○	継続	地域支援チームを組織 し、「あなたの町の予報 官」として市町村との連 携強化のため引き続き 参加する。	○	継続	排水実働訓練は、有事 に備えた技術や手順等 の再確認のほか、関係 機関との連携の構築や 認識の共有を行うた めの場として有効であ ると認識しているた め、引き続き、取り組 んでいく。	○	継続	訓練は必要であること から継続する。	○	継続	出水期前における水防 訓練は、有事に備え、 有効であると認識してい るため、引き続き、取り 組んでいく。	○	継続	排水訓練や現地確認は 、有事の備えとして有 効であり、引き続き参加 していく。	○	継続	有事の際、迅速な水防 活動が展開できるよう、 消防団と連携し、関係 機関が主催する水防訓 練に参加する。	継続

■今後5年間の対応確認表

- 1) 各関係機関の対応を踏まえ、右側の欄に「今後5年間の取組内容における対応方針案」を記載
- 2) 「今後5年間の取組内容」から、完了若しくは除外する項目に関しては、青ハッチングで示した

取組項目(当初)	取組項目(変更案)	高田河川園道事務所		新潟地方気象台		新潟県上越地域整備部		新潟県糸魚川地域整備部		上越市		糸魚川市		妙高市		今後5年間の 対応方針 (案)						
減災のための取組項目	■取組項目の修正内容 ・達成目標を明確にすること で、実施内容に対する「済、実施中、未着手」の判断が容易に可能なよう修正した。 ・達成目標の欄を追加した。	今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応		今後5年間の対応								
実施内容	実施内容（変更案）	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由	今後の対応 ○取組を継続 △内容を変更して継続 ×完了又は除外	理由							
水防協力団体の募集・指定	水防協力団体の募集・指定									○	継続	引き続き、消防団協力事業所の募集を行うとともに、消防団と協力していく。	○	継続	水防活動の担い手として消防団員(水防団員)の確保は重要であり、引き続き募集活動を継続していく。	○	継続	引き続き、消防団員の獲得に努める。	継続			
水防団の共有、連携	水防団との定期的な情報共有、連携									○	継続	引き続き、実施していく。	○	継続	迅速な水防活動につなげるため、水防連絡会での水防団の配置や管轄区域等の情報の共有を図っていく。	○	継続	関係機関と情報共有を図る。	継続			
地域防災計画(行政機能の保全)の充実、業務継続計画(BCP)の策定	地域防災計画(行政機能の保全)の充実、業務継続計画(BCP)の策定	×	完了	策定に必要な資料は提供済み。 なお、また新たな資料提供が必要な場合は、取組項目に新規追加の上、速やかに実施するものとする。		×	完了	策定済み。		×	完了	策定済み。		×	完了	策定済み。	×	完了	策定済み。	完了		
大規模工場等への啓発活動・支援	大規模工場等への啓発活動・支援	○	継続	・地域経済の持続は重要であるため、県として可能な情報提供・支援は継続していく。		○	継続	・地域経済の持続は重要であるため、県として可能な情報提供・支援は継続していく。		○	継続	R3年度以降検討する。	○	継続	各事業所で実施している対応(避難体制や浸水防止対策、備蓄品の整備など)に差があることを踏まえ、新たな浸水想定(想定最大規模)を踏まえた浸水リスクや水害対策等の情報提供を引き続き実施していく。	○	継続	R3年度以降検討する。	継続			
大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	○	継続	現在検討中のため、継続実施。		○	継続	有効かつ効率的な運用の実現が必要であると認識しているため、引き続き、検討していく。		○	継続	必要に応じて検討する。	○	継続	現在検討中のため、継続実施。	○	継続	新たな浸水想定(想定最大規模)を踏まえ、排水施設や資機材の整備について、必要に応じて検討する。	○	継続	新潟県と連携して検討する。	継続
排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	○	継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。		○	継続	有効かつ効率的な運用の実現に向けた連絡体制構築が有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。		○	継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○	継続	水防連絡会や洪水対応演習を活用した排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等の整備は、有事の備えとして有効であり、引き続き訓練等に参加していく。	○	継続	関川・姫川水防連絡会にて、連絡体制の確認を行う。	継続			
浸水被害軽減地区の指定の検討	浸水被害軽減地区の指定の検討	○	継続	引き続き、検討していく。		○	継続	引き続き、検討していく。		○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。	○	継続	引き続き、検討していく。	継続			
災害対応にあたる人材の育成	災害対応にあたる人材の育成	○	継続	国の実施する災害研修、訓練等の情報提供や災害時の体制強化について支援は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。		○	継続	・災害研修、訓練等は有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き取り組んで行く。		○	継続	必要に応じて検討する。	○	継続	国の実施する災害研修、訓練等の情報提供や災害時の体制強化について支援は、有事の備えとして有効であると認識しているため、引き続き、取り組んでいく。	○	継続	県などが主催する研修会に参加し、人材育成に努める。	継続			
災害情報の共有体制の確立	災害情報の共有体制の確立	○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。		○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。		○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。	○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。	○	継続	災害情報体制の強化を進めていく。	継続			